

# 平成24年度学力向上の取組について

函館市立 北美原小学校

学級数 22

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

よさを認め合いながら しっかり学ぶ北美原の子

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

## 取組の概要

### 1 取組のきっかけ

今年度は、昨年度の学校評価を受けて、重点教育目標を上記のように変更した。確かな学びの実現のために、「しっかり学ぶ」をキーワードとして、全教職員が共通認識のもとに取り組んでいくことを目指している。

昨年度までは、「学校組織・指導体制の改善」を重点とし、全員公開研の開催や、児童の実態把握アンケートの実施に取り組んできた。今年度は、継承できる部分は継承しつつ、各種調査の分析等、新たな取組も視野に入れ、確かな学びの実現を目指すこととした。

### 2 取組の位置付け

教務部が中心となり、各分掌と連携を図りながら進めている

### 3 取組の方法

#### ① 各種調査等の分析（教務部）

チャレンジテスト、学力・学習状況調査等の結果を分析し、本校での課題となる部分を見出し、その後の指導に生かす。

#### ② 全員公開研の開催（研究部）

全22学級と大規模校ではあるが、全体授業研（低・中・高、各一回）と授業実践交流という形で、全員の公開授業研を開催する。全体授業研は、算数科で行い、視点を明確にして取り組む。

#### ③ 家庭学習の充実（教務部）

「家庭学習の手引き」の検討をし、家庭へと啓発していく。

## 取組の成果と課題等

### ○ 取組の成果

- ・ チャレンジテスト，全国学力・学習状況調査の結果の分析

(成果) →結果の分析を行い，本校児童の正答率が高かった問題，正答率が低かった問題を共通理解し，その後の授業づくりの工夫・改善に生かすことができた。

- ・ 全員公開授業の実施

(成果) →低・中・高の三つのブロックで，それぞれ算数科の特設授業を行い，共通した視点で「学力向上」に向けての授業づくり・評価・改善を進めることができた。

また，特設授業以外にも，専科，TT，養護教諭を含め，全ての教員が授業を公開し，授業づくりから指導技術に至るまでの話し合いをすることができた。

- ・ 家庭学習の充実

(成果) →学習の手引き（案）をもとに，各学年での取組を充実させ，学年内で交流・改善を進めながら，家庭学習の定着を目指すことができた。

### ○ 教育課程検証の方法

- ・ 10月に本校の重点教育目標に関わる「児童アンケート（1回目）」を行った。また，その結果を保護者にも配布し，家庭との連携を図りながら改善を進めた。

- ・ 12月に同様の内容で，「保護者アンケート」「学校関係者アンケート」を行った。児童アンケートとの比較を行いながら，分析する予定。

- ・ 2月末に「児童アンケート（2回目）」を行い，児童の変容を見取り，次年度へつなげていく予定。